

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 電話3399-2196

理想はきれいごとか？

校長 香西 雅斗

科学と自然の散歩みちでは、キョウチクトウやサルスベリの花が咲き始め、本格的な夏が始まったを感じさせます。

さて、本部役員・中央委員が提案した『中瀬中が目指す理想の生徒像』を大多数の生徒が賛成したことは、学校通信 416 号で紹介しました。その結果を受け、本部役員は生徒会新聞で「これからの中瀬中生は、この 4 つを目指して、みんなで行動していきます。」と宣言しています。また同じ生徒会新聞で反対意見に対しても、しっかり向き合っています。その一つ「理想はきれいごと」に対しての応答を紹介します。



＜キョウチクトウの花＞

核心をついた意見です。理想像をつくった目的を確認します。それは「生徒主体の中瀬中」を実現するためです。大人に意見を通したいなら「私達はこういうルールが必要だ」と言った方が良い。だから必然的に「理想の生徒像」は抽象的（きれいごとに近い）なものになります。

これから、ルールを作るのは私達です。そしてルールは縛るものではなく、方針を示すもの。その根本的な柱となるものが「理想の生徒像」です。「自治」を目指して頑張りましょう！

近頃は「理想」という言葉が「現実的でない」「実現できない」という言葉と結びつけられることが多くなった気がします。でも本当にそれでいいのでしょうか。ここで、私達、日本国民にとって一番基本となるルールである日本国憲法、その前文の抜粋を紹介します。

…（中瀬検定 39 番に冒頭部が載っています）…

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義を信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思う。われらは全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和の内に生存する権利を有することを確認する。

（中略）日本国民は、国家の名誉にかけて、全力をあげて崇高な理想と目的を達成することを誓う。

意識することは少ないかもしれませんが、私達は約 80 年間、日本国民みんながこの理想を実現することを誓い、達成に努めてきたのです。格調高い前文は、口先だけ、表面だけのきれいごとでは決してありません。

今、中瀬中生は、憲法前文の骨子にあたる理想像を明確にし、この理想に向かい努力していくことを宣言しました。そして、この理想の実現のため、タブレットの使い方をはじめ、服装を含めた自分たちの生活のルールを考えています。

はからずも、これから 80 年間使うことになる新しい校舎の建築が始まります。これから 80 年先までの未来に向け中瀬中を動かし始めた生徒たちを、教職員と保護者、そして地域みんなまで応援していきたいと思えます。よろしく願いいたします。

本部役員からの呼びかけ

本部役員が、民主主義の原理「少数意見の尊重」にのっとり、で反対意見に応え、全員へのメッセージを、生徒会新聞に載せているので紹介します。

「生徒それぞれの理想があるので、統一しない方が良い。」 に対し
確かに、生徒一人一人は、それぞれ多様な理想をもっています。でも“中瀬中の生徒として” どうありたいか、それは皆で考え、同じ方向を向く必要があります。

「全ての人がこの通りにいくわけではない」 に対し
その通りです。でも理想を目指して努力しなければいけないと思います。
例えば、上手くコミュニケーションができない人ほど、周りの人が向き合い、認め合い、共に考えて、共に輝けるように支えるべきではないでしょうか。

“理想の生徒像”の目的はルールとして縛ることはありません。あえて、細かく出さないことで、自分たちに何が必要なのか考え、行動し、自立につながると考えています。

しかし、自分の意志で行動することは、責任を伴い、仲間同士が納得できるような場を作っていくことは難しいと思います。

なので、生徒全員が仲間となり、共に協力し合っていくことで、この理想の生徒像の実現に近づくのではないかと考えます。

タブレット使用の指針（ルール）

自分たちで決めた“理想の生徒像「向き合い」「認め合い」「考えて」「輝け！」”に基づいて、本部役員・中央委員がタブレット使用の指針を考え、7月2日（金）6時間目、オンライン生徒集会で生徒会長から提案されました。提案内容（常体文で整理しました）は以下の通りです。

「それは中瀬中生として 誇れる行動ですか？」

- タブレットは、地域の方々の税金で借りたもの。今あるタブレットのルールと向き合って使おう！
- 学校は公共の場です。認め合うために、自分勝手な使い方はやめよう！
- 本当に自分のためになるのか、自分で良く考え、お互いに高め合える使い方をしよう！

＜タブレットの使い方＞

- 1、学習に必要な時に使う。
- 2、毎日家に持ち帰り充電する。
- 3、他人とタブレットを交換しない。自分のタブレットを他の人に触らせない。
- 4、自分のIDやパスワードを、自分以外に知らせない、使わせない。
- 5、必要(学習)があつて、他人の個人情報などを撮影する時は、相手の許可を得る。
- 6、写真や動画の保存は、先生の許可を得る。
- 7、端末の設定は、先生の許可なく変えない。
- 8、アプリケーションの消去や追加は、先生の許可を得てから行う。

生徒が、自分のタブレットの使い方を振り返り、お互いに声を掛け合う指針を、ルールの基本に据えた提案でした。ロイロノートを使った集計の結果は、**80%を超える生徒が賛成**を表明、反対は3%でした。生徒たちの主な「賛成」と「どちらでもない」の意見を抜粋して紹介します。（賛成意見から）

自己の判断にまかされている一方で、個人としての身勝手な使い方は許されないと、二面性をもっていいと思う。
3A 田邊 光一

自分で、それがいいことか悪いことか判断するのは大事なので、自分に問いかけるような目標でいいと思った。
3A 逢坂 真依

：学習をよりよくしていくものだから、ゲームをしたり授業に関係ない動画をみたりしている人がいたら注意すること、互いに高めあうことの一つだと思う。3B 西ヶ谷 美結

：既定の決まりを守れない者に新しい決まりへと口出しする権利はないと思います。現状、既定のルールを守れていない人を見かけるので、まずは今の決まりを守るべきです。
3C 高橋 樹凜

タブレットはたくさんの方々の税金で借りることができたものであるから、タブレットで学習できることに感謝しながら使っていきたいと思った。やはりまだ授業中に学習と関係のないことで使用している人がいる。もう一度使い方を直すべきだ。
今、タブレットをうまく活用することができたら、大人になってもきつと役に立つと思う。

3D 内藤 早希

生徒たちが考えたルールの根幹は

「それは中瀬中生として誇れる行動ですか？」と
「学習に必要な時に使う」です。

つまり「自分の行動を自分で律し、“学習”という目的にみんなで向かおう」という、シンプルなメッセージです。(その他の使い方の項目は、生徒がGIGAタブレットを杉並区から借りた時の条件の言い換えであり、社会で当たり前のマナーです。)

意見の中には、学校として答える内容もありました。

わざわざ個人に持たせているのに、先生が指示した時のみしか使えないのは意味がない。(1年)

…持ち運びが本当に大変なので、充電の切れていない間は持って帰らなくてもいいと思う。(3年)

まず、学習は先生に言われてやるものではない。させられる勉強ではなく、**自分から行うのが“学び”**です。

あと、授業だけが学習でない。委員会も、部活動も学びだし、人間関係だって学びです。学校は“学び舎”です。自分を高める“学び”に、どんどん活用してください。

家に持って帰るのは充電のためだけではありません。授業の予習や復習に自習ソフトを活用している人も少なくありません。2学期に入ったら、朝の健康チェックも、登校前にロイロノートに入力して行おうと計画しています。そして朝起動したら、そのまま学校に持ってきてください。そして

「学校から出ているプリントなども、タブレットで見られるようにしたら紙が無駄に捨てられることもなくなると思いました。(1D 加藤 彩乃)」

この意見の通り、ロイロノートなどを活用し、できるだけプリントを減らしていこうと考えています。

使い方については賛成です。しかし、それを守らない人がいて勝手に「タッチパット」設定を勝手にオフにされたり、リモート設定を勝手にオンにされてサインアウトされたり、その設定変更の場所がわからずタブレットが全然使えなくなっている人に対してはどうすればいいのでしょうか。

また、タブレットを机の上に置いておいてそのまま授業道具を取りに行っている最中他の人が自分のタブレットを触っててせっかく書いていた提出用データウインドウが消されていた時はどうすればいいのでしょうか。

…タブレットの使い方については厳罰化すべきだと思います…(3年)

最後に、左の様なことは“中瀬中生として誇れる行動”でしょうか？

借りたタブレットは、設定も含め、最初の状態にして返さなければなりません。

自分で戻せない場合は、その分の費用が必要になる可能性があります。

これは絶対にあってはいけない事です。ですから、**人のタブレットに触らない!** この様なことが起きたら、また、この様な事を見聞きしたら、必ず先生に知らせてください。

中瀬言葉の検定

7月10日(土)の土曜授業で、学校支援本部『結』の方と、たくさんの保護者の方の協力で、今年度一回目の検定を行うことができました。

<40 全部の暗唱に成功し、上級編に進んだ3年生8名の紹介>
今井 文香(A)、高橋 真希(A)、坂上 陽香(A)、山竹 みれ(B)
西山 明里(B)、中尾 優花(C)、長谷川 涼々(D)、中尾 百花(D)

1年生の最高は25…清澤 柚季(E)、2年生は33…内池 美緒(A)、3年生は68…原 雪乃(B)
原さんは上級編28の暗唱に成功しています。



<救急救命講習 2年>



<理科出前授業 2年>

【学校閉庁日について】

今年度も8/10~13は学校閉庁日で、教員は勤務をしません。そのため、8/6(金)の夕方から16(月)の午前中まで学校の電話が通じなくなりますのでご承知おきください。

最近、みんなタブレットに慣れてきて休み時間にも使っているが、授業の時間になっても閉じず、先生に注意されているところのみられる。また、インターネットを使ってYouTubeや漫画を見ていることがある。今のルールは良いと思うが、そのルールも作ったほうがいいと思った。 2B 新井 陽奈

1A 南 太市

…2・3年生で遊んで使っている人が存在しているなか、1年生にルールをまもらせる行動ができなければ、ルールとして機能しないとします。…

きっと皆はある程度ルールは知っていて、本当はいけないとわかっているが手元にあるとつい「ほれなければいいか」と、目的以外の使い方をしてしまうのだとおもいます。

だからこの指針のようにひとつの大きなテーマを作ること、使い方の判断に個人差はでてしまいかもしれないけど、中瀬中生としての意識をもっていけば、つい使ってしまうという事はなくなると思っています。

3C 福井 奈紗

そもそも学習のために与えられたのだから、その他のことは家で(スマホなど)やればいい。今まで学校でタブレットゲームをやらなくても生活できていたのに与えられてから急にやらないと気が済まない感じはよろしくない。

3C 今井 梨乃

何々するのはやめよう。と細かく決めるのではなく、こうなっていてこうというのが良い。

3D 大木 亮太

これを読んだ私たち中瀬中生は、改めて自分の行いを見直すことができると思う。

自分の行いを見直すことにより、やっていいことと、やってはいけないことを判断できるようになることにもつながると思う。 2A 畠中 愛梨

：理想も踏まえた使い方の説明をしている。また、一つ一つ制限するのではなく、どのようにならぶタブレットを活用していくかが、明確に示されているところも良い。 2A 内池 美緒

ある程度のルールを守ったうえで自由を利用していいと思う。今回のルールは、土台となる指針を含め、縛りすぎず最低限のルールであるように感じた。「学習に必要な時に使う」など、あえて時間を決めつけずに生徒へ考えさせていることで、理想の生徒像である「向き合い」「考えて」等の自主性を目指しているのが良い。

2C 小野 桐佳

僕はタブレットを自分のためになるように使うというところがいいと思いました。自分が本当にするべきことか吟味する必要があるとわかりました。

1A 丹野 旭陽

そもそも、タブレットは学習などの用途で使用するため、私たちに配布されたもの。

だから、「本当に自分のためになるのか、それは中瀬中生として誇れる行動なのか。」このことを念頭に置いて、タブレットの使い方を守り使用していくのなら、タブレットを使うのもいいことだと思った。

1B 高尾 唯愛

休み時間に一つのパソコンに多くの人が集まったりしているので、タブレットの使い方を書いてあるように他の人に自分のタブレットを使わせないことに賛成だからです。

2D 羽生 留菜

「それは 中瀬中生として誇れる行動ですか？」という呼びかけのような言葉で、生徒が自分の使い方を直すことができると思う。 2B 大野 奏斗

学習に必要な時に使う、他人に触らせないなど、自分が必要だと思っていたことがはいついていたので賛成です。

1E 西崎 陽太

：税金で借りたものなので最大限利用していくべきだ。でも、遊びに使ってしまう人もいると思うので、遊んでいられる人を見つけたら注意できるように呼び掛けるべきだと思う。その呼びかけができる人が理想の生徒像だと思います。

1C 井上 美樹

：「本当に自分のためになるのか、自分でよく考え、お互いに高めあえる使い方をしよう」がいいと思う。友達にダメと言われたからとか友達がやっているからとかではなく、自分で善悪を判断することが大切だと思う。

1D 古屋 日葵

「賛成・反対のどちらとも言えない」を選んだ人や、賛成でも“気がかりな事”に触れている意見を紹介します。



<タブレットを使い意見表明>

杉並区から提示された条件に沿うのは当たり前。最低限の行動なので、この使い方は守らなければいけないと考えた。

「誇れる」かどうかは各々によって考えもあると思われるので「理想の生徒像」について一部の生徒だけでなく全員、最低でも8割は高い意識を持たなければならぬ。そのため具体的な良いものにできるかが大切。

3C 関口 瑛貴

：正しく、しっかりと芯の通った、同意のいく考え方だから。強いて言うなら、使う人の道徳心に判断がゆだねられる。見張りをどうしたらいいのか考えたらどうだろうか。 3A 阿部 心

とても具体的だし、いいと思います。だけど、YouTube アプリをダウンロードしている人、授業中必要のないパソコンをいじってひとがいます。

このようなルールは今までもあったのに、できてない人がいます。なので、もう少しルールをきつくしてもいいと思います。 2C 西迫 美央子

自己責任だからいいかなとは思う。極端な話 YouTube を一人が見ていたところで、その学校に悪印象を抱く人なんていないだろう。学力が低下するとかの悪影響も見てる人だけだし。

僕はダメって言われたらもう見ないし、いいって言われたら見ます。 3C 永野 悠斗

地域の方々の税金で借りているものなので、大切に使うことに関しては賛成です。

しかし、「認め合うため」や「お互いに高めあう」などが抽象的ではないかなと思います。

もう少し具体的な説明をしてほしいです。 3D 窪田 倫

今発表されたルールはとっても良く、これを守ったらもっと良い学校になると思います！

でも、ルールが多すぎて覚えきれない人や、どれか守れない人がいると思います。なので、もっと必要最低限のルールでやったほうがいいと思います。 1E 吉見 天璃